

吉中科学部ここにあり!!

校 長 武井 正明

昨日は「にいがた脱炭素プロジェクト 中学円卓会議」が新潟日報メディアシップの日報ホールで行われた。

地球温暖化対策が求められる中、新潟県とタイアップして新潟日報が取り組んでいる脱炭素の企画である。県内から5か校が集まって、発表とディスカッションをした。

吉中からは科学部1年生の8人が参加した。

発表者の3人は市教委の大森主幹が担当、私はオブザーバーの5人を担当ということで現地で落ち合った。

早速リハーサル。3人は発表の準備、お昼付き。オブザーバーの5人はパブリック会場にもなる階段でお弁当。「ここだと人から見られているみたいだなあ」と少々戸惑いながらも、彼らのお昼の会話が、実に楽しい。デザートのチーズを友達に分けてあげる。もらった人は大切に少しずつ食べる。どんな状況でも笑顔で会話しながらの食事を楽しめるって素晴らしい。発表者のお弁当のおかず（チーズ入りハンバーグ）を当てる人もいた。もうこれだけで科学部のファンになってしまう。



会議までまだ時間があったので、最上階の20階へ。ぐるっとパノラマ360度、時折折粉雪が、強風で瞬間真っ白になったり、日本海に5mはあろうかという波しぶきが上がるのが見えたり…。みんなでゆっくりと景色を堪能した。



そして本題の会議。ここでは一転張り詰めた雰囲気の中、発表者の3人が堂々とやってのけてくれた。その後のディスカッションでは質問もして、吉中科学部の爪痕をしっかりと残してくれた。

新潟大学工学部の増田淳教授からは、二酸化炭素やメタンの1万倍も多いフロンを、冷却してヘリウムに変えるツインバードの技術を、自分達の将来にどんどん生かして欲しい、とご講評をいただいた。オブザーバーの5人も集中力を切らさず、最後までよく聴いていた。



一日ずれていたら中止だっただろう。開催できてよかった。おかげで科学部の人達と充実した一日を過ごすことができた。科学部1年生の皆さん、本当に一日お疲れさまでした。きっといい経験になったことでしょう。そして、楽しい時間をありがとうございました!!